



問 五霞IC周辺開発の進捗状況は 答 業務代行者の優先交渉権者が決定し 進行中です

藤沼 喜義 議員

問 市街化編入手続きの進展状況は。

町長 関係機関と調整を鋭意進めています。市街化区域の編入は県都市計画審議会での可決を経て、その後告示を以って編入となります。

建設環境課長 都市計画案の説明会及び都市計画決定に向けた所定の法定手続きを行っています。県決定の市街化編入に併せ、町では用途地域の變更ほか3項目の都市計画決定手続きを同時に進めています。

問 本年6月に可決・告示予定であったが用途は、建設環境課長 本年6月に向けて進めてきましたが、協議に時間を要しあと二ヶ月はかかります。

問 業務代行者の選定状況は。

町長 既に業務代行者の優先交渉順位が決定し、土地区画整理組合設立準備委員会との基本協定書の締結に向け準備中です。

問 道の駅ごかの拡充計画の整合は。

町長 隣接地を優先的に利用できるように優先交渉権者と調整をしています。

問 圏央道・新4号国道との関連は。

建設環境課長 圏央道については平成25年度以降の開通予定です。それに併せて、新4号の4車線化についても平成26年度中の整備予定となっております。また、五霞IC周辺地区の土地区画整理事業は平成25年度に事業の認可、平成26年度に造成等を行い28年度末に事業完了の予定です。圏央道と新4号国道の4車線化に併せて開発の進展も見られると思います。

問 地権者協議会の状況は。

建設環境課長 昨年の10月21日に、既存の組織から五霞IC周辺地区土地区画整理組合準備委員会に改めまして、役員会議を主体に今後の対応等について協議・調整を行いながら、適宜全体会議や通知等により事業の推進を図っています。

問 町の文化財の保護と公開展示について

答 保護条例に基づき保護するとともに に公民館等で公開展示に努める

問 町文化財の実態調査と登録状況は。

教育長 最近五霞町では開発が進んでおりますが、貴重な資料がたくさん残されています。保存・管理は重要と考えています。

教育次長 昭和53年に五霞村歴史民俗研究会が調査を行い「五霞村の石造文化財」という冊子にまとめています。内容は板碑、庚申塔、馬頭観音、十九夜塔、地藏等492基が確認されております。その後、平成17年度から行われました町史編纂事業の調査の中で590基が追加され、併せて1,082基となっています。登録文化財の状況は、県指定2点、町指定が7点、その他県周知文化財、遺跡、郷土芸

能等が15点となっております。

問 発掘された文化財の保存は。

教育次長 埋蔵文化財の保存状況は、中央公民館の2階、3階の倉庫。屋外のプレハブ倉庫等6カ所に分散保管しています。昭和54年に冬木A貝塚から発掘されました18体の人骨のうち1体は公民館3階の倉庫に保管されています。

問 文化財の公開展示について。

教育次長 公民館3階の郷土資料室で遺跡調査の遺物等を一部展示しています。

問 人骨は大変貴重な遺物であり、もっと一般公開すべきと思うが。

町長 町文化財の保護は条例等により今後も行っ

ていきます。公開展示は公民館の建て替え時とか、また、学校のスペースも今後空くことも含めて検討していきたい。

問 今後の町文化財の指定は。

教育次長 町文化財保護条例に基づき、関係機関や学識経験者等からの指導助言をいただきながら検討を進めて参ります。



庚申塔供奉塔(石造)